

第5回新城市自治基本条例を考える市民会議 参加者感想 平成22年6月26日開催

	感 想
市民委員	<p>合併後の3市町村の一体化が進んでいない。市内全体で高齢化が進んでいる。助け合いのルール作りが必要と思う。 高齢者と思わず協働を考えた施策作りの市民委員の方の意見は納得できる。</p>
	<p>活発な議論できよかったと思う。 地域コミュニケーションをどのような仕組みにするかが今後の課題である。合併後の異なったものを大切にしていけるか一本化するか検討課題となるのではないか。 お互いに声を掛け合う仕組みが消え自己中心主義になっているのではないか。</p>
	<p>条例とは今生活している中で、不満、望みができればそれを決める上で必要となる。 文化、地域を守る上で、3世代がどこでも住める市(いかに住めるか)縮小が進む中で残さなければいけないものがあるはず。</p>
	<p>行政区・地域コミュニティの主体を担保できる仕組み(ex. 複数の行政区で自治区を構成し、地域振興の行政を行なう。)を基本自治条例で創れたらいいと思う。 基本条例の目的は、住民一人ひとりの生きがいを尊重すること。</p>
	<p>なかなかうまく云えないけどみんな心を合わせて話し合いをする必要があると思います。</p>
	<p>委員の方々の意見を聞いて大分参考になりました。新城再生の方向が見えてきたように思います。 新城・鳳来・作手各地区の自治体制と市民委員を取り入れる仕組みを具体化する必要ありと思いました。</p>
	<p>良い議論ができたと思う。 徐々に条例の基本事項が現れていたと思います。 後1時間くらい増やしてもいいのではないかな。</p>
	<p>やや行先が見えてきた。 今後の議論で「柱、骨」を見つけたい。</p>
	<p>基本条例を早く作りましょう。 楽しくなっていくような気がしています。</p>
傍聴者	<p>本日の委員の皆さんの発言は、深い・興味ある意見が多く、参考になった。</p>
	<p>価値観の転換—幸福の原点は何か。 そこに自治基本条例の原点があるのか。</p>